

生 活

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名
2	東	書	どきどき わくわく 新編 あたらしい せいかつ 上 あしたへ ジャンプ 新編 新しい 生活 下
4	大	日 本	新版 たのしい せいかつ 上 なかよし 新版 たのしい せいかつ 下 はっけん
11	学	図	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下
17	教	出	せいかつ上 みんな なかよし せいかつ下 なかよし ひろがれ
26	信	教	せいかつ 上 あおぞら せいかつ 下 そよかぜ
38	光	村	せいかつ上 みんな だいすき せいかつ下 みんな ともだち
61	啓	林 館	わくわく せいかつ上 せいかつ たんけんブック いきいき せいかつ下
116	日	文	わたしとせいかつ上 みんな なかよし わたしとせいかつ下 ふれあい だいすき

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫	飼育単元の学習活動の流れ 住みか及び餌等飼育方法が示されている生き物
		② 自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもつための工夫	地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわる写真 四季の変化を対比させたページ
		③ 自分自身や自分の生活について考えるための工夫	学習活動の例及び相互評価・他者評価の例
		④ 生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫	生活のきまりや安全についての記述等
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 興味・関心を高めるための工夫	上巻最初の単元の導入ページの内容
		⑥ 振り返り表現する活動の工夫	栽培単元におけるワークシートの例示
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 単元や資料等の配列及び分量	単元名及び総ページ数 上下巻の構成
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	キャラクター・マークの工夫
(オ)	言語活動の充実	⑨ コミュニケーション活動を通じた他者との情報交流の設定	伝え合う活動の例示

【生活】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫
方法	飼育単元の学習活動の流れ 住みか及び餌等飼育方法が示されている生き物

	飼育単元の学習活動の流れ	住みか及び餌等飼育方法が示されている生き物 ※表記は教科書の記載のとおり
東 書	○ 上巻『いきものとなかよし』 ・むしを さがそう ・むしと なかよく なるう ・[いきものずかん] ・[やってみよう] みんなで どうぶつを かおう	ショウリョウバッタ オンブバッタ コオロギ
	○ 下巻『生きものななかよし大作せん』 ・生きものを さがしに 行こう ・生きものを とりに行こう ・生きものを そだてよう ・生きもの の ことをつたえよう ・[生きもの図かん]	ダンゴムシ カエル ザリガニ アゲハ
大 日 本	○ 上巻『あきとなかよし』『いきものとなかよし』 ・どんな ところにいるのかな ・できたよ、むしの うち ・むしの ふしぎを みつけた！	オンブバッタ コオロギ テントウムシ
	○ 下巻『生きものはっけん』『生きているってすごい！』 ・どんな 生きものが いるかな ・見つけたよ！ ・大切に するよ ・生きものって すごいな	ダンゴムシ カタツムリ やご ザリガニ
学 図	○ 上巻『いきものだいすき』 ・なかよく なるう ・いきもの さがし ・[ものしりノート]	モルモット
	○ 下巻『生きものと友だち』 ・生きもの さがし ・ザリガニの せわ ・ザリガニ はかせ ・ダンゴムシの せわ ・ダンゴムシ はかせ ・[ものしりノート]	ザリガニ ダンゴムシ キリギリス ヤゴ アリ アゲハチョウ
教 出	○ 上巻『なかよくなるうね 小さなともだち』 ・なかよく なるう ・じぶんたちで そだてよう ・生きもの の ようす	モルモット
	○ 下巻『めざせ生きものはかせ』 ・生きものをつかまえよう ・生きものを かって みよう ・生きものはかせに なるう ・生きものはっぴょう会を しよう ・[生きものクイズ]	シオカラトンボ ダンゴムシ アメリカザリガニ

【生活】

信 教	○ 上巻『いきものといっしょ①』 ・いきものを かいたいな ・かう ことが できるかな ・きょうから いっしょ ・なにを たべるのかな	うさぎ やぎ かたつむり
	○ 上巻『いきものといっしょ②』 ・まいにちの せわ ・どんな おうちに しょうかな ・おうちが できたよ	
	○ 下巻『いきものといっしょ③』 ・毎日の せいかつ ・思い出を さくひんに	
光 村	○ 上巻『いきものとなかよし』 ・がっこうには、どんな いきものが いるかな ・なかよしに なりたいな ・もっと なかよしに なれるかな ・ずっと なかよし	もるもっと
	○ 下巻『小さななまたち』 ・どこに いるかな、なにが いるかな ・かって みたいな、できるかな ・ふしぎ、びっくり、大はっけん ・みんな 生きている	ダンゴムシ アメリカザリガニ やご アゲハのよう虫
啓 林 館	○ 上巻『生きものとなかよし』 ・生きものに あいに いこう ・なかよしを しょうかいしよう	メダカ・フナ・タナゴ サワガニ・カニ ダンゴムシ・アリ・バッタ ナナホシテントウ・ナミテントウ コオロギ・スズムシ カブトムシ・クワガタ・よう虫 おたまじゃくし アゲハのよう虫 モンシロチョウのよう虫 カタツムリ オンブバッタ クツワムシ ウマオイ マツムシ
	○ 下巻『みんな生きている』 ・生きものたんけんに出かけよう ・かって みよう せわを しよう ・みんなに 見せよう 知らせよう ・[いきいきずかん] ○ 別冊「せいかつたんけんブック」	
日 文	○ 下巻『生きものといっしょに』 ・いろいろな 生きもの 知っているよ ・何か いるかな ・大切に そだてるよ ・よく 見ると… ・ふしぎなこと 発見! ・だっこしても いい? ・よろこんで くれるかな ・教えて あげたいな ・ずっと いっしょに いたい けれど… ・秋や 冬の 生きものたち ・[ひみつ 発見 大発見]	ハムスター ザリガニ カブトムシ やご (トンボ) あおむし (モンシロチョウ) ダンゴムシ カタツムリ メダカ おたまじゃくし (アマガエル)

【生活】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②自分と身近な人々，社会及び自然とのかかわりに関心をもつための工夫
方法	地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわる写真 四季の変化を対比させたページ

	地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわる写真 ※内容(3)を扱った単元の内，下巻を調査	四季の変化を対比させたページ ※数字は掲載ページ
東 書	○ 商店で働く人，交番で働く人，ゲートボールの活動をしている人，畑で働く人，図書館で働く人，ザリガニ釣りを教えてくれる町の人と児童が関わる様子を写真で掲載している。	○ 公園 [上] 36-39 (夏) →62-65 (秋) →92-95 (冬) ○ 季節の掲示 [上] 108-109 ○ 季節のくらし [下] 6-7 (春) →44-45 (夏) →64-65 (秋) →86-87 (冬) ○ 季節の図鑑 [ポケットずかん] 2-3 (春) →4-5 (夏) →6-7 (秋) →8 (冬)
大 日 本	○ 商店で働く人，交番で働く人，茶畑で働く人，子供110番の家の人，工事現場で働く人，図書館で働く人，公園で出会った車椅子の人やベビーカーを押している人，飲食店で働く人，駅で働く人と児童が関わる様子を写真で掲載している。	○ 校庭 [上] 14-15 (春) →86-87 (冬) →108 (早春) [下] 8-9 (春)
学 図	○ 図書館で働く人，商店で働く人，消防署で働く人，福祉施設で働く人と児童が関わる様子を写真で掲載している。	○ 公園 [上] 50-51 (春) →62 (夏) →66-67 (秋) →76 (冬) ○ 「生きものずかん」 [上] 124-125 (春) →126-127 (夏) →128-129 (秋) →130 (冬) ○ 「町のきせつ図かん」 [下] 30-31 (春) →32-33 (夏) →34-35 (秋) →36-37 (冬)
教 出	○ 商店で働く人，駅で働く人，図書館で働く人，児童館で働く人や施設を利用する人，安全パトロールの人，交番で働く人，子供110番の家の人，消防団の人，飲食店で働く人と児童が関わる様子を写真で掲載している。	○ 大木と周りの自然 [上] 26-27 (春) →52-53 (夏) →68-69 (秋) →92-93 (冬) ○ 「のはらのカレンダー」 [上] 98-99 ○ 「たのしかったね1年生」(児童が記述したカード) [上] 102-103

【生活】

<p>信 教</p>	<p>○ 交番で働く人, 駅で働く人, 電車やバスの運転士, 消防署で働く人, 工場で働く人, 人形浄瑠璃の活動をしている人, 和太鼓の活動をしている人, ゲートボールの活動をしている人, 囲碁の活動をしている人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p>	<p>○ 「いつものぼしょ」「さんぽみち」 〔上〕 18-23 (春) →50-55 (夏) →76-79 (秋) →86-89 (冬) →〔下〕 11-14 (春)</p> <p>○ 「きせつのうつりかわり」 〔上〕 106 (春) (夏) →107 (秋) (冬)</p>
<p>光 村</p>	<p>○ 商店で働く人, 商店の客, 駅で働く人, 子供 110 番の家の人, 消防署で働く人, 図書館で働く人と児童が関わる様子を写真で掲載している。</p>	<p>○ 公園 〔上〕 46-47 (春) →56-57 (夏) →60-61 (秋) →66-67 (冬)</p> <p>○ 「きせつのおくりもの」(きせつのなかまたち) 〔上〕 108-109 (春) →110-111 (夏) →112-115 (秋) →116-117 (冬)</p> <p>○ 「きせつのおくりもの」(町) 〔下〕 96-97 (春) →98-99 (夏) →100-101 (秋) →102-103 (冬)</p>
<p>啓 林 館</p>	<p>○ 商店で働く人, 農家の人, 消防署で働く人, 駅で働く人, 図書館で働く人と児童が関わる様子を写真で掲載している。</p>	<p>○ 校庭 〔上〕 20-21 (春) →54-55 (夏) →82-83 (秋) →96-97 (冬)</p> <p>○ 公園 〔上〕 44-45 (春) →84-85 (秋)</p> <p>○ 町 〔下〕 26-27 (春) →32-33 (夏) →64-65 (秋) →72-73 (冬)</p>
<p>日 文</p>	<p>○ 商店で働く人, 商店の客, 図書館で働く人, お茶の作法を教えている人と児童が関わる様子を写真で掲載している。</p>	<p>○ 「きせつだより」 〔上〕 126-127 (春) →128-129 (夏) →130-131 (秋) →132-133 (冬)</p> <p>○ 「もっとさんぽにいきたいな」(児童が記述したカード) 〔上〕 98-99</p> <p>○ 「きせつのちがいをさがしてみよう」 〔上〕 100 (春) (夏) →101 (秋) (冬)</p>

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③自分自身や自分の生活について考えるための工夫
方法	学習活動の例及び相互評価・他者評価の例

	学習活動の例 ※「内容(9)自分の成長」が中心となる単元を調査	相互評価・他者評価の例	
		単元名	例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上巻『もうすぐ2ねんせい』 <ul style="list-style-type: none"> ・いちねんかんをふりかえろう ・あたらしい1ねんせいをしようたいしよう ・しようたいしたことをふりかえろう ・ありがとうわたしたちのきょうしつ ・もうすぐ2ねんせい ○ 下巻『あしたヘジャンプ』 <ul style="list-style-type: none"> ・大きくなった自分のことをふりかえろう ・大きくなった自分のことをしらべよう ・大きくなった自分のことをまとめよう ・ありがとうはっぴょう会をひらこう ・すてきな3年生になろう 	『なつだあそぼう』	「なつやすみをたのしくすごそう」で、夏休みに挑戦したことに対する友達からの評価を吹き出しで掲載している。
		『じぶんでできるよ』	「これからもつづけよう」で、家の仕事をしたことに対する父親からの評価を、吹き出しで掲載している。
		『つたわる広がるわたしの生活』	「まちのすてきをつたえよう」で、図書館紹介の新聞に対する図書館の方からFAXで送られてきた評価を掲載している。
		『あしたヘジャンプ』	「大きくなった自分のことをしらべよう」で、お世話になった保育園の先生からの評価を、手紙で掲載している。
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上巻『ふゆとなかよし』 <ul style="list-style-type: none"> ・ふゆをみつけたよ ・かぞくでいっしょにおしょうがつ ・みんななぜの子 ・はるをさがそう ・もうすぐ2年生 ○ 下巻『自分はっけん』 <ul style="list-style-type: none"> ・はっけん自分のよいところ ・自分のことをもっと知りたいな ・ようこそ、自分はっけんはっぴょう会 ・ありがとうをとどけよう ・みらいにむかってはばたこう！ 	『みんななかよし』 『春はっけん』 『自分はっけん』	活動したことを家で家族に話し、評価してもらおうよう挿絵で促している。
		『生きものはっけん』	「花ややさいをそだてよう」の「たくさんできたよ」で、絵と吹き出しにより、相互に評価し合う様子を掲載している。
		『自分はっけん』	「はっけん自分のよいところ」で友達からの評価カードを受け取る学習活動を設定している。 「ありがとうをとどけよう」で、友達へのありがとうの気持ちを、カードに書く学習活動を設定している。
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上巻『ありがとうがいっぱい』 <ul style="list-style-type: none"> ・いえのしごと ・できるようになったこと ・もうすぐ2ねんせい ○ 下巻『わたし大すきみんな大すき』 <ul style="list-style-type: none"> ・できるようになったこと ・小さいころのこと ・自分ものがたり ・もうすぐ3年生 	『ありがとうがいっぱい』	「いえのしごと」で、家の仕事をしたことに対する母親からの評価を掲載している。
		『わたしたちの野さいばたけ』	「わたしと野さい」で、野菜作りで互いがんばったことを相互評価する活動を設定している。
		『わたし大すきみんな大すき』	「できるようになったこと」で、友達のよいところを「友だちのキラリ見つけたよカード」に書いて伝える学習活動を設定している。

【生活】

教 出	○ 上巻『もうすぐ2年生』 ・たのしかったね1年生 ・すごいねじぶん ・ようこそ小学校へ ・もうすぐ2年生	各単元末「おうちでチャレンジ」	家で家族と一緒に活動にチャレンジすることを挿絵で促している。
	○ 下巻『あしたへダッシュ』 ・自分について考えよう ・自分のすてきをさがそう ・ありがとうをつたえよう ・あしたにむかって	『かぞくにここにこ大きくせん』 『あしたへダッシュ』	「かぞくにここにこ大きくせん」で、父親からの評価を手紙で掲載している。 「自分のすてきをさがそう」で、「〇〇さんすてきだね」カードを使って、友達のいいところを伝え合う学習活動を設定している。
信 教	○ 上巻『わたしたちの一ねんかん』 ・こんなことあったね ・できるようになったこと ・ぼくのだいじなおもいで ・しろちゃんとピョンタとわたし	『いっぱいみのつたね』	「しゅうかくいわい」で招待した、「だいずのおじさん」からの評価を手紙で掲載している。
	○ 下巻『大きくなったわたし』 ・知りたいな ・わたしのたんじょう ・小さいころ ・ようちえんほいくえんのころ ・わがやのたからもの ・ありがとう	『わたしたちがすむ町』	「町たんけんはっぴょう会」で、招待した町の人からの評価を、吹き出しで掲載している。
		『わたしとかぞく』	「わたしがすること」で、家族からの評価を吹き出しで掲載している。
		『大きくなったわたし』	「わがやのたからもの」で、母親からの評価を掲載している。
○ 下巻『生活科の二年間』 ・いろいろなことがあったね ・わたしの生活科	『生活科の二年間』	「わたしの生活科」で、友達や牧場の方からももらった評価の言葉が作文中に表現されたものを例示している。	
光 村	○ 上巻『もうすぐみんなにねんせい』 ・たのしかったね、いちねんせい ・いちねんせいはたのしいよ ・たのしみだねにねんせい	各単元末ジャンプ 「できたこと、わかったこと、もっとやってみたいことを伝えあおう」	友達のよさを吹き出しで掲載している。
	○ 下巻『ひろがれわたし』 ・いまのわたしは、どんなわたし ・いまのわたしになるまでに ・おもい出いっぱい、大きくなったよ ・これからわたしは	『みんなにここにこ大きくせん』	ステップ「もっとにこにこをふやしたいな」で、家族の感想を聞いて、作戦を立てるよう促したり、家族からの評価を「にこにこ大きくせんほうこくしょ」で掲載したりしている。
		『ひろがれわたし』	ステップ「いまのわたしは、どんなわたし」で、母親、友達からの評価をカードで掲載している。 ステップ「おもい出いっぱい、大きくなったよ」で、発表を聞いた母からの評価を手紙で掲載している。

【生活】

啓 林 館	○ 上巻『もうすぐ2年生』 ・1年かんをふりかえろう ・できるようになったこともたくさんあるね ・あたらしい1年生をむかえよう ・もうすぐ2年生	『ひろがれえがお』	「よるこんでもらえるとわたしうれしいな。」で、できたことに対する母親からの評価を手紙で掲載している。
		『もうすぐ2年生』	「できるようになったこともたくさんあるね」で、「友達のすごいところカードをかいて、わたしであげよう。」とキャラクターが活動を促している。また、カードや吹き出しでお互いのよさを教えてあげている様子を掲載している。
	○ 下巻『これまでのわたしこれからのわたし』 ・とくいなことを見つけよう ・自分たんけんをしよう ・自分のものがたりを作ろう ・ありがとうをつたえよう ・明日にむかってすすもう ・大人になったら	『これまでのわたし これからのわたし』	「自分のものがたりを作ろう」で、友達から教えてもらったことを作品やメッセージカードで掲載している。
日 文	○ 上巻『大きくなったね1年かん』 ・おもいでいっぱい ・いまのわたしはね ・わたしのことはっぴょうします	『大きくなったね 1年かん』	「わたしのことはっぴょうします」で、保健室の先生からの評価を手紙で掲載している。
		『いっしょにいる とあんしん』	「ありがとうをつたえたい」で、お手伝いをして母親からもらった手紙を掲載している。
	○ 下巻『わたしのすてきのはばたく』 ・いいところ見つけた ・一番の思い出はね・・・ ・わたしのことしらべたい ・いろいろなことがあったよ ・わたしのすてきを見てください ・たくさんの人のおかげだよ ・これからのわたしは・・・	『発見！町へとび 出そう』	「町のじまんはっぴょう会」で、「友だちおうえんカード」による相互評価を掲載している。
		『わたしのすてき がはばたく』	「わたしのすてきを見てください」で、母親からの評価を手紙で掲載している。

【生活】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	④生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫
方法	生活のきまりや安全についての記述等

生活のきまりや安全についての記述等	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「やくそく」コーナーを設け、活動場面で必要なきまりや安全に関する情報を図や写真で示している。 ○ 安全面での配慮が必要な活動や対象に「ちゅういマーク」を付け、安全に関する注意を喚起している。 ○ 外での活動や衛生面での配慮が必要なページに「てあらい・うがいマーク」を付けている。 ○ 「みんなでつうがくろをあるこう」「つうがくろのあんぜん」「いえのひととつうがくろをあるこう」「がっこうのあんぜん」のページを設け、登下校の安全や災害発生時の行動に関する留意点や情報を掲載している。 ○ 上巻末及び下巻末「べんりてちょう」内に道具の安全な使い方、防災、防犯、交通安全、衛生、健康、乗り物の乗り方について掲載している。
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターが吹き出しで安全や衛生に関する注意を喚起したり、安全面での配慮が必要な活動や対象には吹き出しを設け、注意を喚起している。 ○ 「こうするといいよ」コーナーを設け、道具の安全な使い方について掲載している。 ○ 小单元「わたしのつうがくろ」で、登下校の安全や安全を守る人、公園の利用の仕方について取り上げている。 ○ 小单元「町にははっけんがいっぱい」内に「やくそく」コーナーを設け、「がくしゅうのどうぐばこ」に乗り物の乗り方について掲載している。 ○ 「がくしゅうどうぐばこ」で、身を守るために気を付けること、災害発生時の行動の仕方、探検中の安全に関する約束や情報、道具の安全な使い方、乗り物の乗り方について掲載している。
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 单元内に「ちゅうい」マークを付け、安全や衛生に関する注意を喚起している。 ○ 小单元「町たんけん1」内に「やくそく」コーナー「ものしりノート」を設け、探検中の安全や乗り物の乗り方について取り上げている。 ○ 「あんぜんのページ」を設け、交通安全、防災、防犯、道具の安全な使い方について掲載している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「たんけんのときは」「のはらでは」「道を歩くときは」のコーナーでは、探検中の約束、安全に関するきまりや情報を掲載し、「作っているときは」のコーナーでは、安全に関するきまりを掲載している。 ○ 「ぐんぐんポケットおぼえてあんぜん」で、災害発生時の行動の仕方、防災について掲載している。 ○ 外での活動や生き物に触れる活動のページに、「児童がてあらい・うがいをしている絵」を掲載している。 ○ 上巻末の「ぐんぐんポケット3 どうぐをつかおう」、下巻末「ぐんぐんポケット6 道具をつかおう」内に、道具の使い方を掲載している。
信 教	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターが吹き出しで、安全や衛生、道具の使い方に関する注意を喚起している。 ○ 小单元「いくみちかえるみち」を設け、登下校中の安全について取り上げている。 ○ 小单元「おおゆきの日」内に「ふゆのあんぜん」コーナーを設け、雪道やつららについての注意を掲載している。

【生活】

<p>光 村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「！」マークを付け、安全や衛生、道具の使い方に関する注意を喚起している。 ○ 小单元「なかよしみつかるいきかえりのみち」を設け、登下校中の安全について取り上げている。 ○ 小单元「大きいっぱいわたしのまち」内に、交通安全や防災に関する情報を掲載している。
<p>啓 林 館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小单元「あんぜんにきをつけてかえられるかな」「がっこうのまわりをあるいてみよう」を設け、登下校中の安全、防災、防犯に関する情報について取り上げている。 ○ 土や動植物を触る活動のページに、「てをあらおうね」マークを付けている。 ○ 「あぶない」コーナーを設け、安全に関する注意を喚起している。 ○ 上巻末に「わくわくずかん」、下巻末に「いきいきずかん」、別冊「せいかつたんけんブック」を設け、道具の安全な使い方、探検に関する安全、交通安全、乗り物の乗り方、自分の身の守り方、災害発生時の行動の仕方について掲載している。
<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小单元「きをつけてね」を設け、登下校の安全について取り上げている。 ○ キャラクターが吹き出しで安全に関する注意を喚起している。 ○ 動植物を触る活動のページで、キャラクターが「手をあらおう」と吹き出しで呼びかけている。 ○ 「きをつけよう」のコーナーに、安全面での配慮が必要な対象を掲載し、「さんぽのやくそく」のコーナーでは、安全や衛生について注意を喚起している。 ○ 巻末の「なんでもずかん」に、交通安全、防犯、防災、災害発生時の行動の仕方、道具の使い方、乗り物の乗り方に関する情報を掲載している。

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤興味・関心を高めるための工夫
方法	上巻最初の単元の導入ページの内容

上巻最初の単元の導入ページの内容	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元名『すたあとぶっく』 ○ 1ページの口絵 <ul style="list-style-type: none"> ・2名の児童が、通学路に立っている安全ボランティアに笑顔で挨拶をしている。 ○ 「どきどきわくわく1ねんせい」の記載
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元名『みんななかよし』 ○ 見開き2ページのイラスト <ul style="list-style-type: none"> ・登校中の児童生徒に地域の住民が手を振ったりほほえみかけたりしている。 ・学校の正門では先生たちが笑顔で児童を迎えている。 ○ 「しょうがっこうせいかつのスタートだ!」の記載 ○ 左ページのみ折り込みで、開くと2ページのイラスト <ul style="list-style-type: none"> ・家族との団らんの様子・就寝時・朝食の様子・出かける時の様子など家庭生活のイラスト
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元名『がっこうたんけん』 ○ 見開き2ページのイラスト <ul style="list-style-type: none"> ・楽しそうに登校する児童やたくさんの児童が校庭で遊ぶ学校の様子を描いたイラスト ○ 「1ねんせいになったよ。」の記載 ○ 両ページとも折り込みで、開くと見開き4ページの写真とイラスト <ul style="list-style-type: none"> ・登校までの家庭生活→学校での生活→帰宅後の生活を表した19枚の写真と登場人物のイラスト
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元名『わくわくどきどきしょうがっこう』 ○ 見開き2ページの写真 <ul style="list-style-type: none"> ・校庭でランドセルを背負った8名の児童 ・入学式当日の様子(5枚) ・「がっこうが たのしみだね。」という吹き出しのついた5名の児童 ○ 「みんなが いれば ぜんぶがたのしい」の記載
信 教	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元名『いってきます』 ○ 見開き2ページのイラスト <ul style="list-style-type: none"> ・楽しそうに登校する児童や登校中の児童に地域の住民が手を振ったりほほえみかけたりしている。 ○ 継続して登場する人物2人とその家族を角丸四角形で囲んだイラスト
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元名『きょうからいちねんせい』 ○ 見開き2ページのイラスト <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが、個々の好きな食べ物を持ったり、好きな動物を連れてたり、好きな遊びをしたりしている。 ・次頁「みんな なかよし。」の互いに関わり合って遊ぶ子供たちのイラストにつながる。 ○ 「すきな ものを いって みて すきな たべものは なに」「すきな どうぶつは なに」「すきな あそびは なに」という記載

【生活】

啓 林 館	<ul style="list-style-type: none">○ 単元名『いちねんせいになったよ』○ 見開き2ページのイラスト<ul style="list-style-type: none">・桜と校舎を背景に、ランドセルを背負って登校してきた2名の児童（継続的に登場する）・学校生活の4場面（授業風景・遠足の昼食・水泳学習・運動会）・ランドセルを背負った3人のキャラクター○ 導入のページであることを示す「わくわく」マークの記載
日 文	<ul style="list-style-type: none">○ 単元名『いちねんせいになったら』○ 見開き2ページのイラスト<ul style="list-style-type: none">・上級生と登校している5名の児童，授業風景，笑顔で花壇の周りを走っている2名の児童○ 継続して登場する6名の児童と教師の写真及びイラスト○ 「みんなのともだちだよ。よろしくね。」の記載

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥振り返り表現する活動の工夫
方法	栽培单元におけるワークシートの例示

栽培单元におけるワークシートの例示		
	様式	具体例 (单元内1枚目の記述内容)
東 書	〈上〉 <input type="radio"/> 絵と文で記述 <input type="radio"/> 罫線なし	<ul style="list-style-type: none"> ・題『たねをまいたよ』 ・種の絵 ・「はやくめがでほしいな。」
	〈下〉 <input type="radio"/> 絵と文で記述 <input type="radio"/> 横書き罫線5行	<ul style="list-style-type: none"> ・題『ミニトマトのなえをうえました。』 ・ミニトマトの苗と自分の絵 ・「くきには小さい毛がたくさんはえていました。ははキュウリより小さくてぎざぎざしていました。毎日せわをするから、大きくそだってほしいです。」
大 日 本	〈上〉 <input type="radio"/> 絵と文で記述 <input type="radio"/> 横書き罫線2行	<ul style="list-style-type: none"> ・題『あさがお (にっき)』 ・葉が2枚の芽と、種の皮のついた芽の絵 ・「はっぱがでたよ。うれしいな。」
	〈下〉 <input type="radio"/> 絵と文で記述 <input type="radio"/> 横書き罫線6行	<ul style="list-style-type: none"> ・題『キュウリ (にっき)』 ・キュウリの苗と児童とキュウリ農家の方の絵 ・「きょうの生かつかのじかん、キュウリのうかの三田さんにおしえてもらってキュウリのなえをうえました。三田さんにいわれたとおりにやさしく手にもって、土をかぶせて、水やりをしました。ひりょうをやるともっと大きくなるのかな。キュウリがとれたらつけものにしたいです。三田さんおしえてくれてありがとう。」
学 図	〈上〉 <input type="radio"/> 絵と文で記述 <input type="radio"/> 横書き罫線3行	<ul style="list-style-type: none"> ・種を手を持つ自分の絵 ・「あさがおのたねは、くろくてちいさいよ。いきているのかな。」
	〈下〉 <input type="radio"/> 絵と文で記述 <input type="radio"/> 横書き罫線6行	<ul style="list-style-type: none"> ・題『なえからそだてるよ。』 ・「あさがおは、たねからそだてたから、はじめ、ミニトマトもたねからそだてたいと思いました。でも、なえやおじさんが『なえの方がそだてやすいよ。』とおしえてくれました。だから、なえからそだてることにしました。じょうずにできたら、たねからもそだててみたいな。」
教 出	〈上〉 <input type="radio"/> 絵と文で記述 <input type="radio"/> 横書き罫線1行	<ul style="list-style-type: none"> ・題『たねをまいたよ』 ・種の絵 ・「くろい」「ごつごつ」「ほんとうのおおきさ (そばに原寸大の種の絵)」 ・「はやくめがでてほしいな。」
	〈下〉 <input type="radio"/> 絵と文で記述 <input type="radio"/> 横書き罫線5行	<ul style="list-style-type: none"> ・題『ミニトマトのなえをうえたよ』 ・ミニトマトのなえの絵 ・「はっぱは、みどり色でぎざぎざでした。くきからとげが出ていてさわると少しいたいです。水をあげたから元気にそだつと思います。早く大きくなってほしいです。」

【生活】

信 教	<p>〈上〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 絵と文で記述 ○ 縦書き罫線 8 行 	<ul style="list-style-type: none"> ・題『あさがおにつき』 ・種の絵 ・「あさがおのたね」 ・「すいかみたい」
	<p>〈下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 絵と文で記述 ○ 縦書き罫線 11 行 	<ul style="list-style-type: none"> ・大豆を畑に植えている児童の絵 ・「おじさんにおしえてもらったようにだいずのたねをまきました。『元気にそだってね。』と、だいずに声をかけながら、まきました。まい日、水やりをちゃんとやろうと思います。」
光 村	<p>〈上〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 絵と字で記述 ○ 罫線なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・種の絵 ・「あさがお」
	<p>〈下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 絵と文で記述 ○ 罫線なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・えだまめの絵 ・「おとうさんといっしょにたべたいな。」
啓 林 館	<p>〈上〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 絵と文で記述 ○ 罫線なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・種の絵 ・「あさがお」 ・「ちいさくていしみたいです。まいにちせわをがんばります。」
	<p>〈下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 絵と文で記述 ○ 横書き罫線 5 行 	<ul style="list-style-type: none"> ・題『ミニトマトをうえました』 ・植木鉢に植えたミニトマトのなえ、自分及びミニトマトの実の絵 ・「わたしはミニトマトのなえをうえました。げん気にそだって、おいしくたくさんできるといいなとおもいます。」
日 文	<p>〈上〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 絵と文で記述 ○ 罫線なし ○ 虫眼鏡内に絵を描く 	<ul style="list-style-type: none"> ・種の絵 ・実物を貼ったシート ・「ほんとうのおおきさ」「ちいさい」 ・「くろくてみかづきみたい」 ・「ちょっとへこんでる」
	<p>〈下〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 絵と文で記述 ○ 横書き罫線 5 行 	<ul style="list-style-type: none"> ・題『はたけ (ニュース)』 ・みんなで畑を耕している絵 ・「みんなではたけをたがやして、うねをつくりました。エリカちゃんがとてもじょうずでした。ミミズとダンゴムシがいました。生きものがある土はいい土だよと先生が教えてくれました。」

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦単元や資料等の配列及び分量
方法	単元名及び総ページ数 上下巻の構成

	単元名及び総ページ数※目次に記載のあるもののみ		上下巻の構成
	上巻	下巻	
東 書	117 (10 単元) ○ すたあとぶっく ○ がっこうだいすき ○ きれいにさいてね ○ なつだあそぼう ○ いきものとなかよし ○ たのしいあきいっぱい ○ つくろうあそぼう ○ じぶんでできるよ ○ ふゆをたのしもう ○ もうすぐ2ねんせい	121 (9 単元) ○ 春だ今日から2年生 ○ 大きくなあれわたしの野さい ○ どきどきわくわくまちたんけん ○ 生きものなかよし大作せん ○ うごくうごくわたしのおもちゃ ○ みんなでつかうまちのしせつ ○ もっとなかよしまちたんけん ○ つたわる広がるわたしの生活 ○ あしたへジャンプ	○ 季節の流れを軸に、2年間の活動を19の単元で構成している。上巻は「学校」「通学路」「家庭」「身近な公園」を主たる活動の場とし、下巻は「身近な地域」へと活動の場を広げるように配列している。
	大 日 本	133 (4 単元) ○ みんななかよし ○ なつとなかよし ○ あきとなかよし ○ ふゆとなかよし	
学 図		132 (5 単元) ○ がっこうたんけん ○ わたしのあさがお ○ あそびにいこうよ ○ いきものだいすき ○ ありがとうがいっぱいもうすぐ2ねんせい	128 (5 単元) ○ 町のすてき大はっ見 ○ わたしたちの野さいばたけ ○ 生きものと友だち ○ 作ってあそぼう ○ わたし大すきみんな大すき
	教 出	120 (8 単元) ○ わくわくどきどきしょうがっこう ○ きれいにさいてねわたしのはな ○ なつともだちになろう ○ なかよくなるうね小さなともだち ○ あきともだちになろう ○ かぞくにこにこ大きくせん ○ ふゆともだちになろう ○ もうすぐ2年生	114 (7 単元) ○ わくわくするね2年生 ○ めざせ野さい作り名人 ○ まちが大すきたんけんたい ○ めざせ生きものはかせ ○ えがおのひみつたんけんたい ○ 作ってためして ○ あしたへダッシュ

【生活】

信 教	108 (17 単元)	100 (14 単元)	○ 二人の主人公を中心とした物語性をもたせた単元展開、学校生活や行事、季節などを考慮し、児童の意識の流れに沿うように時系列の単元配列としている。また、地域に根ざした教材と直接体験を重視した単元構成にしている。
	○ いってきます ○ みんなともだち ○ はるがいっぱい ○ たんごのせつく ○ きれいにさいてね ○ いきものといっしょ① ○ たなばた ○ まぶしいなつ ○ ひとつぶのたねから ○ いきものといっしょ② ○ おつきみ ○ あきがっぱい ○ みのりのあき ○ ふゆもげんき ○ はしれはしれ ○ ひなまつり ○ わたしたちの一ねんかん	○ きょうから二年生 ○ 二年生の春 ○ れんげえんそく ○ いきものといっしょ③ ○ いっぱいみのつて ○ かがやく夏 ○ すすめすいすい号 ○ いっぱいみのつたね ○ わたしたちがすむ町 ○ 冬とお正月 ○ てづくりおもちゃ ○ わたしとかぞく ○ 大きくなったわたし ○ 生活科の二年間	
光 村	119 (7 単元)	103 (6 単元)	○ 各単元を「花を育てる活動」「季節に触れる活動」など、活動のまとまりごとの単元構成にしている。また、上下巻ともに視点や活動を広げるようにヒントを示したり、自ら考えることの楽しさ、面白さが実感できるように「？」を置いたりしている。
	○ きょうからいちねんせい ○ なかよしいっぱいだいさくせん ○ おおきなあれわたしのはな ○ みんなであそぼうはるなつあきふゆ ○ いきものとなかよし ○ みんなのにこにこだいさくせん ○ もうすぐみんなにねんせい	○ きょうから2年生 ○ 大きいっぱいわたしのまち ○ ぐんぐんそだて ○ 小さななかまたち ○ あそんでためしてくふうして ○ ひろがれわたし	
啓 林 館	133 (10 単元)	125 (8 単元)	○ 上下巻は2年間の季節の移り変わりをベースに、上巻は「学校と生活」、下巻は「地域と生活」をテーマにした単元構成にしている。また、上下巻の巻末資料のうち、野外に関するものを別冊にも掲載している。
	○ いちねんせいになったよ ○ がっこうともだち ○ ひとつぶのたねから ○ さあみんなででかけよう ○ だいすきなつ ○ 生きものとなかよし ○ ひろがれえがお ○ たのしもうあき ○ たのしさ見つけたよふゆ ○ もうすぐ2年生	○ わくわくするね2年生 ○ おいしい野さいをそだてよう ○ レッツゴー町たんけん ○ つくろうあそぼうくふうしよう ○ みんな生きている ○ もっと行きたいな町たんけん ○ つたえ合おう町のすてき ○ これまでのわたしこれからのわたし ※別冊「せいかつたんけんブック」49 ページ	
日 文	138 (9 単元)	132 (6 単元)	○ 上下巻それぞれに主人公を設定し、ストーリー性をもたせた展開としている。また、生活科の教科目標に照らした構成、多様な対象と出会い、関わり、関心や意欲を高めながら追究していく構成にしている。
	○ いちねんせいになったら ○ はじまりはじまりがっこうたんけん ○ さかせてみたいなはないっぱい ○ みなさんこんにちは ○ なつやすみがやってくる ○ いろやかたちたくさん見つけた ○ さむさの中でげんきいっぱい ○ いっしょにいとあんしん ○ 大きくなったね1年かん	○ 発見！町へとび出そう ○ 大きくそだてみんなの野さい ○ 生きものといっしょに ○ 夏休みにしたいことは ○ あそびのたつ人あつまれ ○ わたしのすてきかはばたく	

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
方法	キャラクター・マークの工夫

キャラクター・マークの工夫	
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 同じ児童（挿絵）が繰り返し登場し、活動を展開している。 ○ キャラクターが、児童に思考や活動を促したり安全への注意を喚起したりしている。 ○ 「てをあらおう・うがいしよう」マークで、安全・衛生上の注意を促している。 ○ 「ポケットずかん」マークで、ポケットずかんの活用を促している。 ○ 「べんりてちょう」マークで、巻末資料の該当ページを参照するよう促している。 ○ 「やくそく」の欄には、活動するとき気を付けることが記載されている。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターが、児童に思考や活動を促したり活動上の注意を喚起したりしている。 ○ 「せいかつことば」のマークを付けて見開きページ右端にコラムを設け、言語文化への理解を促している。 ○ 見開き右上に木の葉スペースを設け、児童の意欲喚起と活動課題の明確化を図っている。 ○ 頁端のインデックスマークで、資料ページ「がくしゅうどうぐばこ」であることを表している。
学図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元では同じ児童（挿絵）が繰り返し登場し、活動を展開している。 ○ 「ちゅうい」マークを付け、安全・衛生上の注意を喚起している。 ○ 「生きものずかん」マークで、季節ごとに見られる身近な動植物が分かる資料ページを示している。 ○ 「学びかたずかん」マークで、生活科の学習に役立つ基本的な学習方法が分かる資料ページを示している。 ○ 大単元の最後に、「きみならどうする」マークで学習したことを生活に生かす活動を促している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターが、児童に思考や活動を促したり活動上の注意を喚起したりしている。 ○ 頁上のナビゲートラインに、「ぐんぐんポケット」、関連教科及び「せいかつかノート」に関する情報が示されている。身に付けさせたい習慣・技能を示した巻末資料「ぐんぐんポケット」の参照番号を示している。 ○ 右スペースに、学習のヒントを示す「はっけんひんと」、家庭連携を促す「おうちでちゃれんじ」、自己評価欄「ふりかえる」及び活動上の注意点を示している。
信教	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2名の児童（挿絵）が、主人公として活動する物語性のある展開になっている。 ○ 各単元に表示のマークを付け、単元間のつながりを示している。 ○ キャラクターが児童に思考や活動を促したり、安全・衛生上の注意を喚起したり、次単元へのつながりを示したりしている。 ○ 五節句、伝統行事及び伝承遊びにかかわる単元では、地域の特色を盛り込んだ「切り絵」で行事や遊びを表している。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の思考の流れを大切にしながら、活動を活性化することをねらって単元を3段階で構成しており、「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」のマークで示している。 ○ 単元末資料には、「もっと やってみたい」マーク、巻末の年間活用資料には「きせつのおくりもの」マークが表示されている。 ○ 「どうすれば、いいのかな」コーナーを設け、自ら考える活動を促している。 ○ 「！」マークを付け、安全・衛生上の注意を喚起している。

【生活】

<p>啓 林 館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気付きの明確化をねらい、単元を導入の「わくわく」・主活動の「いきいき」・交流活動の「つたえあおう」・広げて深める「ちゃれんじ」の4段階で構成しており、左上にマークが表示されている。 ○ キャラクターが、児童に活動や思考を促したり、活動上の注意を喚起したりしている。 ○ 「わくわくずかん」「いきいきずかん」マークや「たんけんブック」マークで資料の参照ページを示している。 ○ 自己評価欄には「できるかな」マーク、課題解決欄には「こんなとき どうしよう」マーク、発展的活動には「ちゃれんじ」マークが表示されている。 ○ 「てをあらおうね」マークや「あぶない」コーナーで、安全・衛生上の注意を喚起している。
<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 同じ人物（写真・挿絵）が繰り返し登場し、活動する物語性のある展開になっている。 ○ キャラクターが、児童に活動や思考を促している。 ○ 見開きページの右端に側欄、左端に「めぐり」を設定し、活動の広がりやアドバイスを表示している。 ○ ワンポイント・アドバイスを「青マーク」、安全面やマナー面を「赤マーク」、活動の広がりを「緑マーク」で表示している。 ○ 「なんでもずかん」マークを付け、巻末資料「なんでもずかん」の参照ページを示している。

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑨コミュニケーション活動を通じた他者との情報交流の設定
方法	伝え合う活動の例示

伝え合う活動の例示 ※下巻地域探検単元において調査	
東 書	<p>単元 『どきどきわくわくまちたんけん』『もっとなかよしまちたんけん』『つたわる広がるわたしの生活』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と計画を立てている。 ○ 不思議に思ったことや聞いてみたいことなどを地域の人（和菓子店で働く人、畑で働く人など）にインタビューしたり教えてもらったりして調べている。 ○ 見付けたことや活動したことを家の人に話している。 ○ 何を、誰に、どんな方法で伝えるかを、友達と話し合っている。 ○ 電話、ファックス、インターネットなどの方法で、知りたくなったことをさらに調べている。 ○ 地域の人を招いて発表会を開いている。 ○ 作成したポスターや新聞を持って町に出かけ、伝え合う活動をしている。 ○ 交流した地域の人からもらったファックスを提示している。
大 日 本	<p>単元 『わたしの町はっけん』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町の大好きな人や場所を書いた紹介カードを基に、友達や先生と探検の計画を立てている。 ○ 地域の人（青果店で働く人、図書館で働く人など）に取材したり体験したりしながら、調べている。 ○ 見付けたことや出会った人などを報告し、カードを情報コーナーに掲示している。 ○ 友達に、クイズ・ポスター・紙芝居・地図を用いて発表している。 ○ 見付けたことや活動したことを家の人に話している。 ○ 地域の人を招いて発表会（地図や音声などを用いて）を開いている。 ○ ポスター、掲示板の活用、ホームページなどで、多くの人に発信している。
学 図	<p>単元 『町のすてき大はっ見』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町について知っていることを紹介し合い、友達や先生と町探検の計画を立てている。 ○ 見付けたことや出会った人などを報告し、カードを町の紹介コーナーに掲示している。 ○ 地域の人に電話をして訪問の依頼をしている。 ○ 地域の人（豆腐屋で働く人、畑で働く人など）に教えてもらったり、インタビューしたりしながら調べている。 ○ 友達と見付けたことを伝える方法を相談している。 ○ 地域の人を招いて発表会（新聞、写真などを用いて）を開いている。 ○ 発表会の招待状やお礼の手紙を書くように促している。
教 出	<p>単元 『まちが大すきたんけんたい』『えがおのひみつたんけんたい』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町について知っていることを友達と交流し、地図を見ながら探検の計画を立てている。 ○ 地域の人（児童館で働く人、消防団で働く人など）にインタビューをしたり、行った場所（図書館、和菓子屋など）で仕事の体験をしたりしながら、町について調べている。 ○ 地域の人に電話や手紙やファックスなどで、訪問の依頼をしている。 ○ 友達にクイズや劇や写真を用いて発表したり、地図や新聞にまとめたりしている。 ○ 地域の人を招いて発表会（新聞、クイズ、実演などを用いて）を開いている。 ○ 作成したポスターや感謝状を持って町に出かけ、伝え合う活動をしている。 ○ 招待状やお礼の手紙を書いたり、見付けたことを家の人に話したりしている。

【生活】

<p>信 教</p>	<p>単元 『わたしたちがすむ町』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の人（レスキュー隊員，パン屋で働く人など）にインタビューしたり，人形浄瑠璃，囲碁などを教わったり，地域に伝わる民話を聞いたりして調べている。 ○ 地域の人に聞いた民話について交流している。 ○ 見付けたことを作文に書いたり，ペープサートや地図に表したりして，友達と交流している。 ○ 地域の人を招いて発表会（絵に描いて話す，教わったことを実演するなど）を開いている。 ○ 地域の人に招待状を渡したり，掲示板で知らせたりしている。
<p>光 村</p>	<p>単元 『大すきいっばいわしのまち』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 好きな人や好きな場所をカードに書いて教え合ったり，1回目の探検で見つけたことを基に友達と交流したりして計画を立てている。 ○ 地域の人（洋菓子店で働く人，消防署で働く人など）にインタビューしたり，図書館を利用しながら教えてもらったりして調べている。 ○ 見付けたことや出会った人などをカードにまとめ，ペアやクラス全体で交流している。 ○ みんなの発見を地図上に出し合い交流している。 ○ 作成したポスターやお礼の手紙を持って町に出かけ，伝え合う活動をしている。
<p>啓 林 館</p>	<p>単元 『レッツゴー町たんけん』『もっと行きたいな町たんけん』『つたえ合おう町のすてき』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 行ってみたい場所や聞いてみたいことを出し合いながら，友達と探検の計画を立てている。 ○ 地域の人（和菓子屋で働く人，図書館で働く人など）にインタビューしたり教えてもらったりして調べている。 ○ 発見したことを友達に写真やペープサートやクイズなどで伝えたり，カードを地図に貼ったりしながら交流している。 ○ 見付けたことや活動したことを家の人に話している。 ○ 地域の多様な人（幼児や高齢者など）を招いて発表会を開いている。 ○ 作成したポスターやお礼の手紙を持って町に出かけ，伝え合う活動をしている。
<p>日 文</p>	<p>単元 『発見！町へとび出そう』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町に出かけて気付いたことを付箋に書き，地図に貼りながら友達と交流したことを基に，探検の計画を立てている。 ○ 地域の人（パン屋で働く人，図書館で働く人など）にインタビューしたり体験したりして調べている。 ○ 見付けたことや体験したことをまとめる方法を，友達や先生と相談している。 ○ 地域の人を招いて発表会（地図，新聞，体験コーナーなどを用いて）を開いている。 ○ 作成したポスターやお礼の手紙を持って町に出かけ，伝え合う活動をしている。 ○ 交流した地域の人からもらった手紙を提示している。